



・かめまの環境を  
地域と共にはぐくむ・

「ecoの環」へのご意見、ご要望がありましたら、環境課環境政策係までお寄せください。

## 未来の廃熱利用 実証実験中

環境課環境政策係 ☎(64)3194

市内のごみ焼却施設（サンエコサーマル株）で発生する熱は発電に利用されています。しかし、低温の熱は使い切れずにいました。

この低温廃熱を有効活用しようと、高砂熱学工業株・月島機械株・サンエコサーマル株の共同実施体により、廃熱を吸着材にためて輸送し市内の2つの施設で利用するための実証実験が、平成30年3月末まで行われています。

①吸着材が入ったタンクに、焼却施設から排出された熱をためます。

②タンクから熱を取り出して活用します。



### 廃熱利用先

○出会いの森高齢者福祉センター



#### ■用途

- ・温水利用
- ・空調利用

○鹿沼運動公園温水プール



#### ■用途

- ・温水利用
- ・温風利用
- ・乾燥利用

### 吸着材の特徴

- ・低温廃熱（130℃から200℃）に対応
- ・冷房・暖房両方に利用可能
- ・地球に優しい天然素材
- ・吸着材、タンクは再利用可能

### 2つの施設への供給内容

- ・熱供給回数：週1回
- ・熱供給時間：約8時間/回
- ・提供熱量：約400MJ/回  
(200Lの家庭風呂約25杯分相当)

実験が成功すれば…

- 未利用だった低温廃熱を有効利用できます。
- タンクを運んで、離れた場所で熱を利用できます。
- エネルギー（電気・重油等）の使用量を減らし、CO<sub>2</sub>を削減できます。





## 学生服を再利用（リユース）しよう！

リサイクルショップぶうめらん ☎ (65) 6677  
上殿町698 (市リサイクルセンター内)

卒業や進級などで、まだ着られるのに不要になった学生服を再利用してみませんか？

「ぶうめらん」では、園児服、体操着、カバン、学用品などの委託販売を行っています。

また、最近増えてきた「再利用の学生服が欲しい」という保護者の声により、学生服の再利用（リユース）を推進することにしました。

詳細については「ぶうめらん」までお問い合わせください。寄付も大歓迎です！

営業時間 午前10時～午後3時  
(水曜定休)



## 食品中の放射性物質を測定します

環境課環境保全係 ☎ (65) 5759

- ・野菜やきのこ等に含まれる放射性物質（ベクレル）を無料で測定します。（市内産の農林産物等で出荷制限指示または出荷自粛要請が出ているものがあります。詳しくはお問い合わせください。）
- ・予約制です。必ず事前にご連絡ください。
- ・測定に使った物は返却できません。
- ・測定結果は、電話または郵送でお知らせします。

## 空間放射線量器を貸し出します



- ・空間放射線量（シーベルト）の測定器を無料で貸し出します。
- ・環境保全係または各コミュニティセンターへお申込みください。

◀測定器

## 環境活動者紹介コーナー

市内で環境の保全や美化などに取り組む団体・企業などを、環境活動推進会議の編集員が取材しました。【松島・青木・和久井・糸井・伊藤・北條（敬称略）】

## “もったいない”の精神で、楽しみながらリサイクル活動「鹿沼くらしの会」

「鹿沼くらしの会」は昭和51年3月に設立し、40年以上活動している消費者団体で、現在会員は55人です。環境活動では、身の回りから出るごみの問題に取り組み、3つの活動をしています。

1つ目は“もったいない”の精神で、可能なものは知恵を出してリサイクルしています。衣類は少しの工夫でもう一度着用できるよう加工します。さらに、牛乳パックで椅子や箸置き・ペン立て、包装紙でブローチ、アクリル毛糸で台所用のタワシを作り、再利用に努めています。

2つ目はレジ袋の削減のため、会員手作りのマイバッグを使用しています。マイバッグには、アクセントにスカートやネクタイを利用したり、葬儀用の袋に布を張り付けたりして、おしゃれに変身させて楽しみながら活動しています。

3つ目はペットボトルのキャップを収集しています。きれいに洗って乾かし、年間40～50キロのキャップをリサイクルセンターに運びます。4キロで一人分のワクチンになるということなので、ささやかな社会貢献だと思っています。

もちろん、市のごみ収集5種14分別もきちんと守っています。

これらの活動を通して、ゴミ削減に努めていると会長の高橋さんが語ってくれました。



リサイクルで生まれ変わった小物

